平成２７年度　第２回　根室市総合教育会議　議事録

１　日　時　　平成２７年１１月２０日（金）開会 午後１時３０分
　　閉会 午後２時４５分
２　会　場　　根室市役所　２階　中会議室
３　出席者　　根室市長　長谷川　俊　輔
（根室市教育委員会）　委員長　松　下　洋一郎
　　委　員　澤　村　武　之
　　〃　天　神　正　人
　　〃　岩　﨑　園　子
　　教育長　寺　脇　文　康
（事務局職員）
　　教育部長　今　井　泰　和
　　教育総務課長　齋　藤　博　士
　　総務主査　大　沼　公　治
４ 付議事項
（１）教育予算について
（２）いじめ防止対策について
（３）全国学力学習状況調査について
（４）その他
その他
５．議　事
○　長谷川市長あいさつ
○　協議事項
（１）教育予算について
＜長谷川市長＞
　昨日、来年度の予算編成会議を行ったところでありますが、その中で私が申しましたのは、国において「経済財政運営と改革の基本方針２０１５」、いわゆる「骨太の方針」で示された、「経済・財政再生計画」に基づき、各種施策の優先順位を洗い直すとともに、無駄を徹底して排除し、予算配分を大胆に重点化する方針のもと、予算編成作業が進められている中、財務省と各省庁の折衝が、本格化しているものと承知しております。
　また、当市においては、都市部に先行して生産年齢人口が減少するとともに、市中経済においても、ロシア２００海里内での「サケ・マス流し網漁業の操業禁止」などを背景として、多くの業種で、業況の後退見通しが示されているところであります。
　このような状況から、市税や地方交付税に増加を見込むことはできない一方、少

子高齢化の進行に伴う社会保障関係費等が増加を続けていることに加え、最重要課題である「人口問題・少子化対策」や高潮災害を教訓とした、新な「防災・減災対策」など、多くの財政需要が見込まれるところであります。

そうした中、平成２６年度決算においては、１０年ぶりに、財政調整基金等の「貯金」を取り崩したところであり、このことを、全職員がそれぞれの立場で真摯に受け止め、大胆な発想で既存事務事業の徹底した見直しに取り組まなければ、近い将来に「貯金が枯渇する」という、危機的な状況に直面しているところであります。

さらに、平成２８年度の収支見通しにおいては、１３億を超える多額な財源不足が見込まれており、長期的な視点に立った「財政の健全化」と計画的な「施策展開」の両立を目指す観点から、各部局に配分する要求枠については、本年度に引き続き、厳しい内容となっております。

平成２８年度は、先に策定した「人口ビジョン」及び「総合戦略」などに基づき、人口減少の抑制を目指し、特に重要となる、少子化や地域活性化などに、全市を挙げて取り組む考えであります。

そのため、これまで以上に、将来展望を見据えつつ、様々な情勢の変化に柔軟に対応可能な、財政基盤の確立に向けた取り組みを、加速させていただきたいと考えております。

このようなことを予算編成会議において、職員に話をさせていただいたところであります。それでは資料により事務局より説明願います。

・今井教育部長より【資料１】により説明

＜長谷川市長＞

市長就任以来、毎年、予算大綱にも記載しておりますとおり、教育費と福祉費については地方自治の根幹を成すということで、全道平均を下回らないように配慮をしてきたところでありますが、しかし、まだまだ十分ではない部分もあると考えております。

教育費について、何かお気づきの点などありましたらご発言をお願いします。

＜松下委員長＞

ご説明のありましたように、教育予算については手厚く予算配分していただいていると実感しており、来年度も引き続き更なるご配慮をお願いしたいと思います。

私たち委員は学校訪問をしておりまして、現場の校長先生、教頭先生からお話を伺う機会があり、１０年ぐらい前は学校経営方針などの資料の中に、１ページに収まらないくらいの修繕要望がどこの学校に行ってもありましたが、最近はいくらか少なくなってきたように感じます。

それでも管内の他町に比べると、歴史が古いこともあって老朽化が進んでおり、教員住宅も含めて他地域より要望が多い状況となっています。それが、学校の質や先生の質にもつながり、子どもたちの教育環境にも影響すると思いますので、今後ともご配慮をお願いします。

＜長谷川市長＞

教員住宅の話がありましたが、先日、市の重点課題を協議する場において、教育委員会から住環境の改善策の説明があり、積極的に取り組むように伝えておりますし、今後も教育の重要性を十分認識してまいりたいと考えています。

（２）いじめ防止対策について

・齋藤教育総務課長より【資料２】により説明

＜長谷川市長＞

冒頭に申し上げましたが、平成２７年度より「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正された理由の一つとして、従来の制度ではいじめ等の問題に迅速に対応できていなかったことなどが挙げられており、このたびの改正により首長との連携の強化や迅速な危機管理体制の構築が可能となったところであります。

ただいまの説明にご意見などありましたらお願いします。

＜澤村委員＞

大津市の事件を受け、法が改正されたことにより、事の重大さが浸透してきていますが、子どもに万が一のことがあり、命を落としてしまうようなことがあれば取り返しがつきませんので、学校訪問の際には先生たちにも注意をお願いしております。

教育委員会に相談することが負のイメージなこともあるのかと思いますが、命にかかわる問題なので早期発見が大事ですし、いじめに発展する前から把握をして、情報共有しながら学校と教育委員会が力を合わせて重大案件を防いでいくべきだと思います。

＜天神委員＞

いじめの状況を見るとかなり凸凹がありますが、最近の新聞にいじめ件数を出すと学校の指導力不足を疑われるので、あまり表に出ないという記事がありました。

平成２５年度を見ると件数が多くて、平成２６年度には大幅に減っており、報告がされていないように見えてしまったりしますが、小さな案件でも表に出してもらった方が保護者も安心すると思います。

＜長谷川市長＞

平成２５年度が極端に増えた要因について説明をお願いします。

＜今井教育部長＞

平成２５年度、小学校で１２８件と３倍に跳ね上がっており、とくにいじめの態様では「ひやかしやからかい、悪口や脅し文句、いやなことを言われる」が多くなっておりますが、これらについては子どもたちを対象に定期的に行っているアンケート調査の結果となっております。

この結果を受けて、いじめの根絶・防止を教育委員会としても校長会などにおいて対応をお願いし、学校や学級単位でそれぞれ対応をしておりますが、その結果が平成２６年度の減少につながったとみており、結果を隠すというようなことは無い

と考えております。
　また、岩手県の矢巾町において子どもがいじめにより自殺をした事件を受け、道教委が毎年行っているいじめの調査について、同一年度内に再調査を行うとの通知があり、当市においても再調査を実施しましたが、一回目と変わらない結果となったところであり、学校からも適正に報告が行われていると考えております。

（３）全国学力学習状況調査について
・齋藤教育総務課長より【資料３】により説明
＜今井教育部長＞
　今回、テストを受けた４５５名の個人別の結果については、学校を通じて保護者宛にお知らせしたところであります。
　また、学校単位でこの学力調査の結果を踏まえて分析を行い、授業改善策なども併せて周知しております。
　現在、根室市全体での結果を取りまとめ中で、教科だけでなく、生活習慣、学習環境の調査結果も網羅した内容で、市のホームページや報道により今月中に公表を予定しております。
＜長谷川市長＞
　公表は道教委が全市町村分を一斉で行うのか。
＜今井部長＞
　市町村ごとに公表することになっております。道教委は管内別のものを２５日に公表予定です。
＜寺脇教育長＞
　道教委の公表も全市町村ではありませんが、市町村別にも公表され、根室管内の１市４町はすべて公表となる予定です。

（４）その他
特になし

○閉　会
＜長谷川市長＞
本日予定された議件は全て終了いたしました。
年末に向けて予算編成作業が活発になってまいります。本日いただきましたご意見も踏まえながら進めてまいりたいと思います。
本日はありがとうございました。

午後２時４５分　閉会